

KONISHI REPORT

第91期 株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日



当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の景気対策を背景として企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな景気の回復基調をたどる一方、中国経済の減退をはじめとする海外景気の下振れが懸念されるなどの経営環境に影響を与えるリスクが存在する状況で推移しました。

当社グループの関連業界では、土木建設業界においては、都市部を中心とした建築物の補修・改修工事の需要およびインフラの整備並びに維持修繕の需要の高まりは継続しております。住宅業界においては、消費税増税の影響による住宅着工戸数減少からの回復が本格化する兆しがありましたが、現場管理の問題を受けその勢いは弱まってお

2020年 創業150周年に向け、重点施策を着実に実行してまいります。

りました。自動車業界においては、国内生産が低調に推移しており、電子・電機業界においても、業界を牽引しているスマートフォンへの需要が継続しておりますが、陰りも見えはじめ、自動車業界とともに先行き不透明な状況となっております。しかしながら、昨今の原油価格下落による原材料コスト低減の恩恵を大きく受ける環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、2018年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い事業を推進し、その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高1,188億60百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益63億78百万円(前年同期比20.1%増)、経常利益63億87百万円(前年同期比16.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は37億63百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

さて当社は、4年後の2020年には創業150周年を迎えることとなります。今後、継続的な利益創出と事業拡大を目的として、コニシグループの連携強化、強い生産と物流体制の更なる構築、また、研究開発のスピードアップを図り、コア事業の強化および周辺領域の市場発掘と育成およびアジア市場への展開を進めてまいります。また、関連会社3社を中心に展開する土木建築請負事業をボンド、化成品に次ぐ土木建設工事セグメントとし、更なる事業展開を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 よこた たかし 横田 隆

売上高

118,860
百万円

前期比
2.7%増▲

(百万円)



営業利益

6,378
百万円

前期比
20.1%増▲

(百万円)



経常利益

6,387
百万円

前期比
16.9%増▲

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

3,763
百万円

前期比
23.6%増▲

(百万円)



1株当たり当期純利益

97.92 円

(円)



1株当たり配当金

40 円

(円)



ポイント解説

- 一般家庭用市場・住関連市場を中心に、消費税増税による停滞からの回復は徐々に弱まったものの売上を伸ばしました。
- インフラおよびストック市場での補修改修・補強工事需要が旺盛で、ボンドセグメントにおける土木建築関連商材や、土木建設工事での工事請負事業が売上を伸ばしました。
- 営業利益は、生産物流体制強化のための投資に伴う減価償却費の増加などがありましたが、売上伸長により補完いたしました。また、原材料コストの下落により利益を押し上げました。

2016年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しております。2017年3月期(予想)における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式総数(自己株式数を除く)により算定しております。

※普通配当 15円
株式会社設立90周年記念配当 5円
2016年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しております。2016年3月期以前の配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2017年3月期(予想)における中間配当および期末配当については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

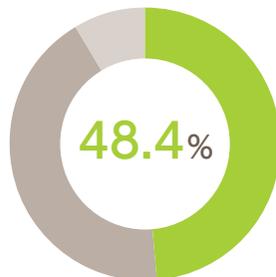
ボンド

事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っています。ボンド事業部門が関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを直す際に使用される土木建築関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、製品の開発・改良を行っています。生産拠点は滋賀工場・栃木工場・浦和工場の3拠点です。また、滋賀と栃木には自社で物流センターを構え、スピーディーな出荷とお客様へのサービス向上を目指し運営しています。



売上高構成比



売上高 **57,578** 百万円

前期比 **+2.4%**

営業利益 **5,042** 百万円

前期比 **+17.2%**

セグメント構成

コニシ(株) ボンド営業本部
 水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株)
 ウォールボンド工業(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株) (株)スタイル運輸
 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
 Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)
 Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)

注：平成28年4月1日付で矢沢化学工業(株)は、ウォールボンド工業(株)に社名変更しております。

当連結会計年度の概況

住宅関連

消費税増税の影響による住宅着工戸数減少からの回復基調の勢いは弱まりつつあるものの、リフォーム物件や集合住宅などの建築物関連の工事は堅調で、内装工事に用いる接着剤やタイル用接着剤の売上は増加しました。

産業資材関連

紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けのウレタン系接着剤、電材用の弾性接着剤が順調に売上を伸ばしました。

土木建築関連

建築物のリニューアル物件の発注が堅調で補修材や建築用シーリング材が順調に売上を伸ばしました。土木関連では、橋梁のコンクリート表面保護に使用される材料が大きく売上を伸ばしました。

一般家庭用関連

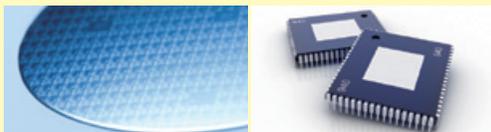
大手ホームセンターでの新規定番商品獲得や100円均一ショップでの取り扱いアイテムの増加、メディアを活用した販促活動等による手芸関連製品の売上伸長が継続しており、好調に推移しました。



化成品

事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料を仕入れて、ユーザーに販売するといった活動を行っています。化学品、塗料、電子電機、自動車、生活資材などの分野を中心に、中国、台湾、タイ、インド、インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。



当連結会計年度の概況

化学工業および電子・電機業界向け

納入量が大きく増加している発泡体原料、医薬品中間体並びに記録媒体用樹脂が好調に推移しました。

自動車業界向け

国内の自動車生産が低調に推移しており売上は前年を大きく下回っております。

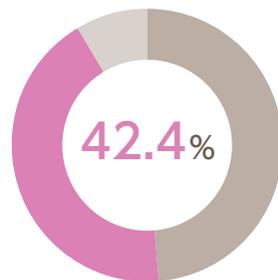
塗料業界向け

飲料缶コーティング用塗料や自動車補修用塗料の需要は低迷しており、塗料向け商材全般が低調に推移しました。

セグメント構成

コニシ(株) 化成品営業本部
丸安産業(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA (インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド)
台湾丸安股份有限公司

売上高構成比



売上高 **50,389** 百万円

前期比 **+2.5%**

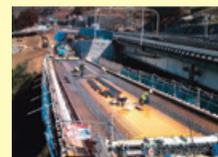
営業利益 **477** 百万円

前期比 **+24.4%**

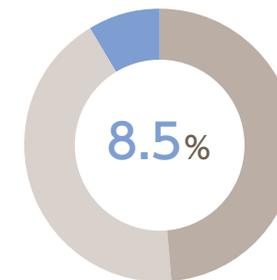
土木建設工事

事業内容

高速道路や鉄道、学校や病院などの補修・補強や耐震化工事を請け負い、現場の施工管理を行う工事請負事業および橋梁・高速道路の工事における新設上部床板工事業を主たる事業として行っています。



売上高構成比



売上高 **10,132** 百万円
前期比 **+5.4%**

営業利益 **742** 百万円
前期比 **+47.1%**

当連結会計年度の概況

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が堅調に推移し、また、受注物件も順調に完工したため売上を伸ばしました。

セグメント構成

ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株) コニシ工営(株)

その他

化学品データベースシステムの販売および不動産賃貸業となり、売上高7億60百万円(前期比2.0%減)、営業利益は1億12百万円(前期比0.6%増)となりました。

セグメント構成

コニシ(株) 不動産部門 日本ケミカルデータベース(株)

注：当連結会計年度より、従来「その他」に含まれておりました「土木建設工事」について、重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

コニシグループ 関係会社紹介

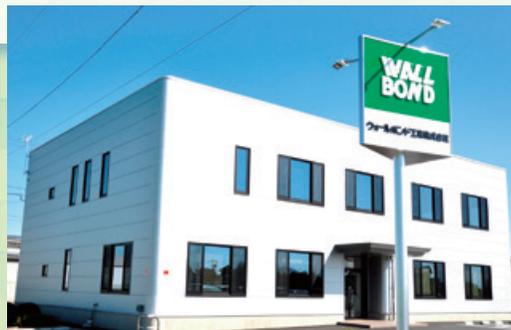
～ウォールボンド工業(旧：矢沢化学工業)～

群馬県邑楽町に本社・工場を構えるウォールボンド工業株式会社(旧：矢沢化学工業株式会社)は、主として壁紙用の澱粉系接着剤を製造、販売する会社です。創業は昭和23年で、翌昭和24年に株式会社を設立し、平成26年1月



にコニシグループの一員となり、平成28年4月より「ウォールボンド工業株式会社」へ社名変更いたしました。

全売上高の8割以上を壁紙用途用接着剤が占めており、問屋・代理店向けの製品勉強会の実施やウォールボンド工業主催の講習会を開催し、壁紙施工技術の向上と製品のシェア拡大を目指した事業活動を行っています。



会社概要

- 商号 ウォールボンド工業株式会社
- 代表者 代表取締役社長 松下 眞一郎
- 所在地 群馬県邑楽郡邑楽町中野130
- 設立 昭和23年(1948年)5月
- 事業内容 壁紙施工用接着剤・パテ材、下地調整剤(シーラー・プライマー)などの製造及び販売

コニシとウォールボンドのコラボもスタート!!

ウォールボンド工業の販売ルートで、コニシ製品である「ボンド カベコーク」の販売をスタート!

コニシはウォールボンド工業の主力製品である壁紙用接着剤を3製品仕入れて、コニシブランドとして立ち上げました。

コニシの販売網と物流機能を活用し、特にウォールボンド工業が市場をあまり取っていない西日本を中心に拡販を推進いたします。また、コニシが従来持っているハウスメーカー・ビルダーへの展開と、金物・建材業界への販売ルートへの横展開を図っていきます。



1 栃木工場 床用接着剤新生産ラインが完成！

栃木工場では、平成25年に延べ床面積2,600平方メートルの第一製造所を竣工し、これまで需要増が見込めるタイル用接着剤や土木用接着剤等の製造設備を設置してきました。

そして平成27年、仕上げの第四期工事として、今後の生産増に備えるべく床用弾性接着剤の生産ラインを導入しました。この生産ラインの特長は、容器の生産から製品充填までが一つのラインで連続生産できることです。今後、更なる床用接着剤のシェア向上を目指してまいります。



栃木工場 第一製造所



ベース製造・貯蔵タンク



充填ライン

2 「ボンド 裁ほう上手」の販売が好調です！

「ミシンを持っていない」、「針・糸を使うのが面倒」といった主婦の声から生まれた「ボンド 裁ほう上手」ですが、リピーターの増加やテレビCM放映、大手コンビニエンスストアでの採用やホームセンターでの取り扱いが増加したことで、好調に売上を伸ばしています。また、『Amazonランキング大賞2015(ホビー総合部門)』で第1位を獲得するなど、認知度も向上しています。

最近ではリピート購入するお客様から大容量タイプについての要望も多くなり、「ボンド 裁ほう上手 120g」を新たに発売しました。パッケージ側面には作品例や使用量目安が記載されていますので、初めて手に取ったお客様でも安心して使って頂ける製品となっております。



3 静岡営業所開設

平成28年4月1日付にて、静岡営業所を開設しました。静岡エリアを中心に、土木建設分野や工業用分野での拡販を目指し、地域に密着して新規需要を取り組むべく活動を行ってまいります。



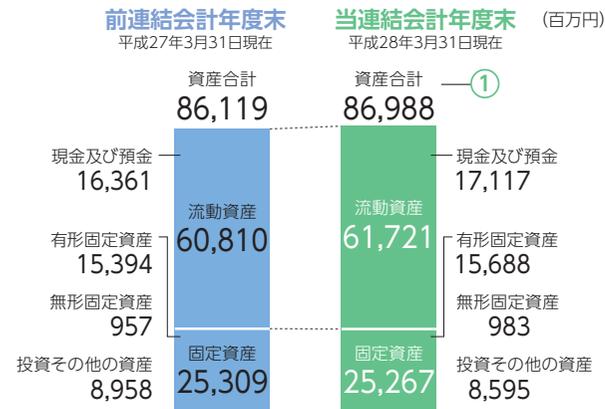
4 東京駅ホームに企業広告看板を設置しました！

平成28年4月1日より、企業PRを目的として、東海道新幹線「東京駅」にLED電照看板を設置しました。東京駅の新幹線ホームに設置することで、さらに多くのステークホルダー様に対して、弊社のPRを促進したいと考えております。

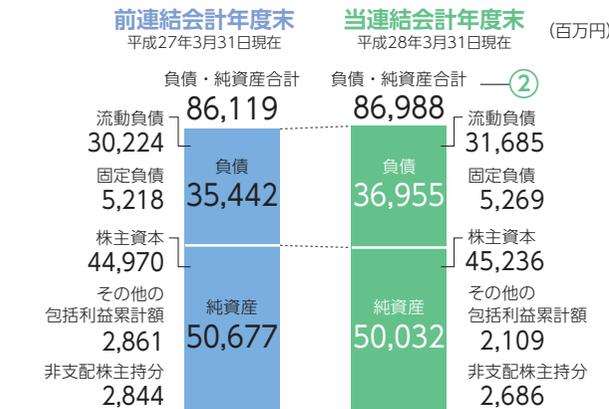


連結貸借対照表

資産の部



負債・純資産の部



ポイント ① 資産

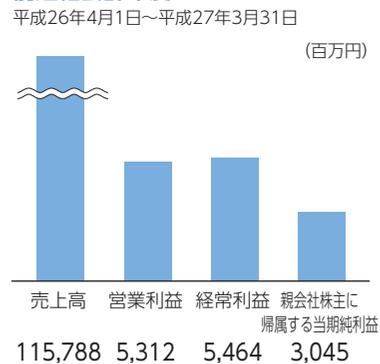
資産は、有価証券が6億39百万円、投資有価証券が3億71百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が8億31百万円、現金及び預金が7億55百万円、有形固定資産が2億94百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億68百万円増加しました。

ポイント ② 負債・純資産

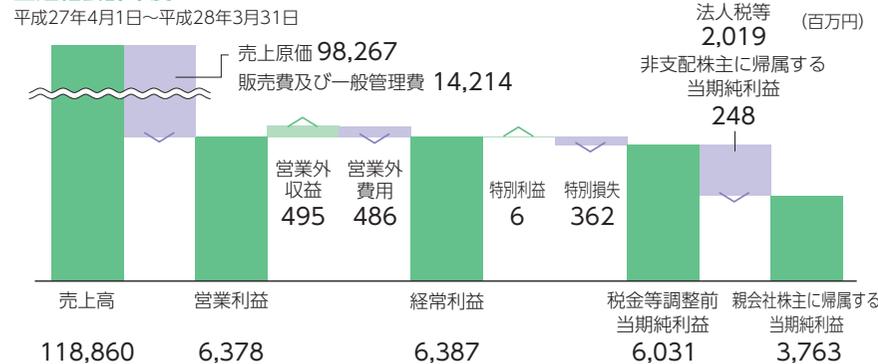
負債は、未払法人税等が6億35百万円、支払手形及び買掛金が4億96百万円、退職給付に係る負債が3億72百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ15億13百万円増加しました。純資産は、利益剰余金が30億72百万円増加したものの、自己株式を30億46百万円取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億44百万円減少しました。

連結損益計算書

前連結会計年度



当連結会計年度

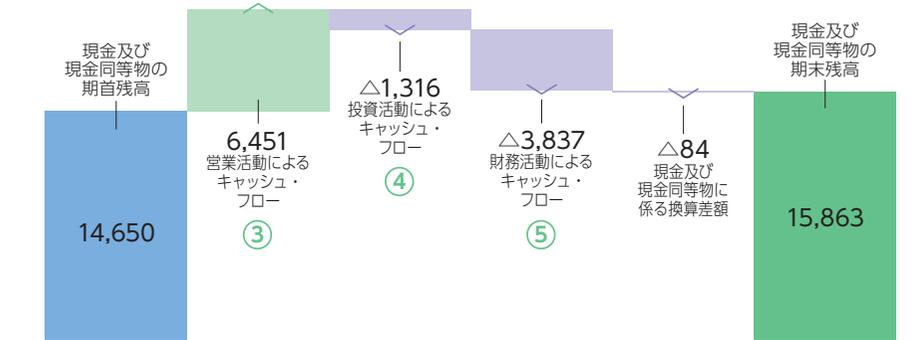


連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(百万円)



ポイント ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、法人税等の支払額が14億54百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が60億31百万円、減価償却費が18億91百万円あったこと等により64億51百万円となりました。

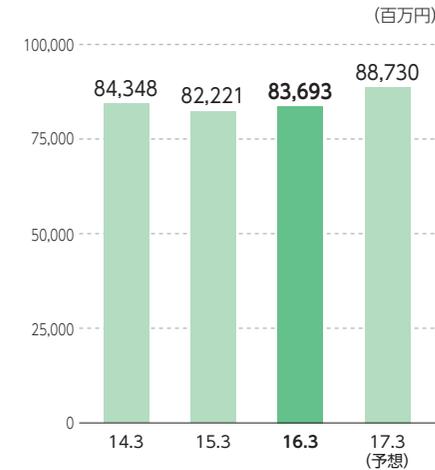
ポイント ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が19億84百万円あったこと等により13億16百万円となりました。

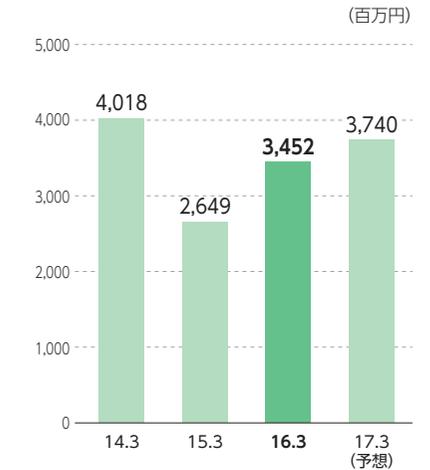
ポイント ⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得による支出が30億46百万円あったこと等により38億37百万円となりました。

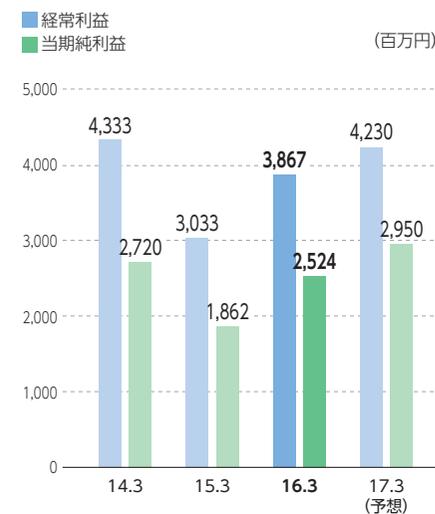
売上高



営業利益



経常利益・当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



会社概要

会社概要

(平成28年3月31日現在)

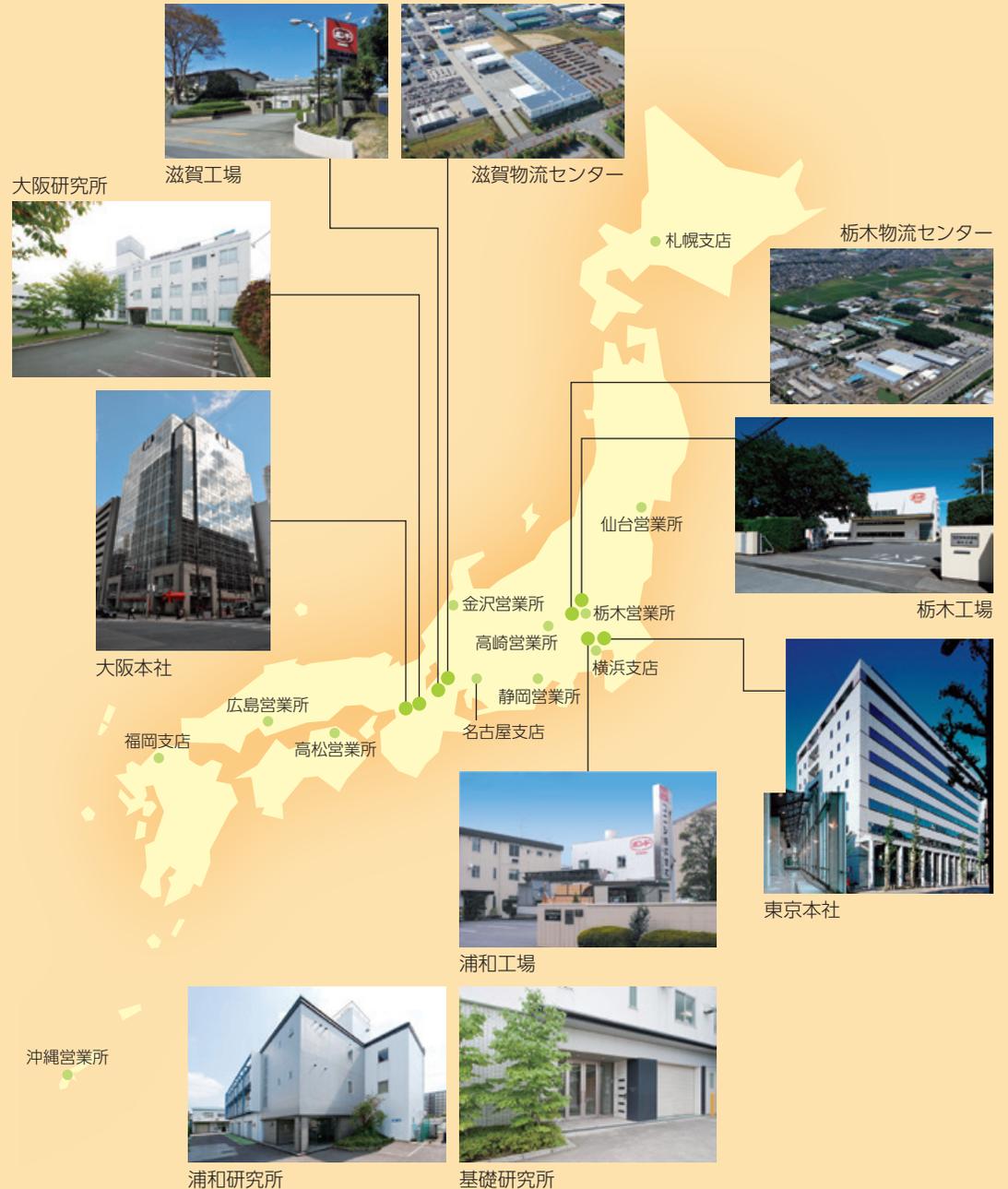
設立 1925年(大正14年)9月25日
 資本金 46億3百万円
 従業員数 連結1,257名、単独704名
 証券コード 4956
 事業所 本店 〒541-0045 大阪府中央区道修町1丁目6番10号
 大阪本社 〒541-0045 大阪府中央区道修町1丁目7番1号
 北浜TNKビル
 東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地
 竹橋スクエア
 支店 名古屋、福岡、横浜、札幌
 営業所 仙台、栃木、高崎、静岡、金沢、広島、高松、沖縄
 製造拠点 栃木工場、浦和工場、滋賀工場
 研究所 浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所
 物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

注：平成28年4月1日より静岡営業所を開設いたしました。

役員

(平成28年6月17日現在)

代表取締役社長	横田 隆	常勤監査役	東郷 正人
取締役常務執行役員	日下部 悟	社外監査役	狩野 仁
取締役常務執行役員	有澤 彰三	社外監査役	吉川 郁夫
取締役執行役員	須藤 孝也	執行役員	野田 昌治
取締役執行役員	井上 孝一郎	執行役員	松端 博文
取締役執行役員	大山 啓一	執行役員	巖 利彦
取締役	小西 哲夫	執行役員	吉川 洋明
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	中村 耕一
社外取締役	木村 亮	執行役員	高中 喜一郎



株式の状況

株式の状況

(平成28年3月31日現在)

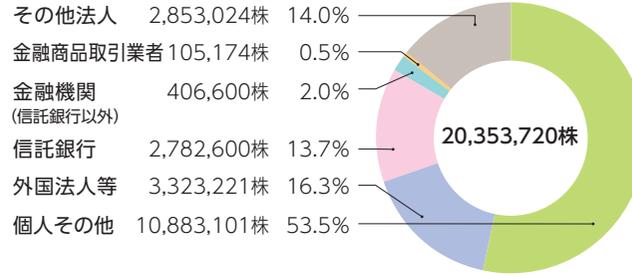
発行可能株式総数..... 80,400,000株
 発行済株式の総数..... 20,353,720株
 1単元の株式数..... 100株
 株主数..... 4,807名

大株主 (上位10名)

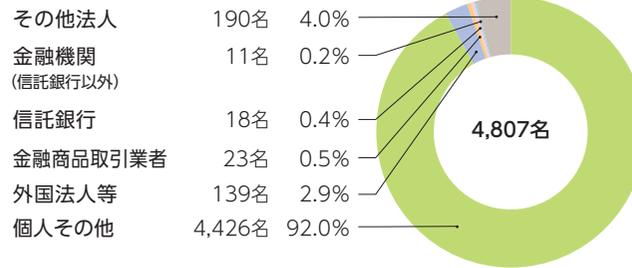
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
コニシ共栄会	1,158,600	6.30
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	562,100	3.05
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	470,800	2.56
小西千代子	410,424	2.23
小西啓二	369,048	2.00
コニシ従業員持株会	364,928	1.98
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	352,700	1.91
井上道子	345,000	1.87
小西哲夫	342,400	1.86
株式会社カネカ	342,000	1.86

(注1)日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、すべて信託業務に係る株式であります。
 (注2)出資比率は、自己株式(1,977,414株)を控除して記載しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

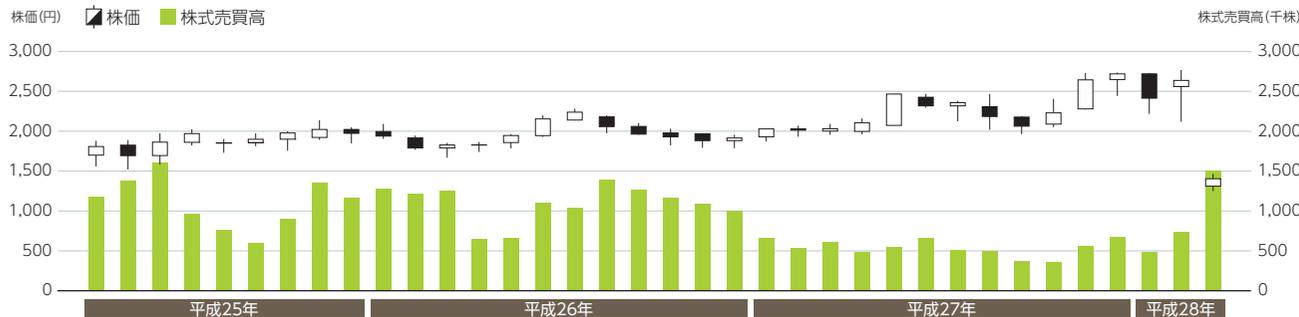
所有者別株式数の分布状況



所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移



WEB SITE

ホームページ紹介

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。



アドレス

<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。